

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：子どもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーティションなどで空間を仕切る事で、利用者様に合わせて環境を設定したり、指導員同士で連携を図ったりする事で、密にならず安全に過ごせるように配慮をして、支援を行うように努めている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で定められた定員数である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入り口が少し狭い所はあるが、落ち着いて支援に取り組める環境があるなど、特性に応じた空間に配慮をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝礼や個別支援計画を作成する際の会議において、話し合いを都度行ったり、情報共有を密に行ったりする事で参画に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回のアンケートを基に業改善に努めている。また、保護者様の意向の把握としては定期的にモニタリングを行う中で、話をお伺いし業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			実施結果を事業所内に掲示すると共に、ホームページ上での公表も行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者による外部評価は行っていないが、車内での評価は行い業務改善に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内の月1回以上の定例研修に参加する事で、資質の向上に努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に1回モニタリングを行ったり、年に1度アセスメントを行ったりする事で、利用者様の現状を把握したり、個別支援計画の作成をしたりしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内で統一されたアセスメントツールを用いて、利用者の現状の理解に努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当指導員で話し合いをしながら、支援内容を決定し行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ルーティーンが必要な児もいるが、その時の様子や成長に合わせた支援内容を検討したり、楽しんで支援に取り組める様に工夫したりしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別で支援しているため、利用者様の状況によって保護者様と情報共有をしたり、利用者様と相談したりする事で支援内容を設定している。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		密にならない様に環境面に配慮をしながら、利用者様からのご要望に沿って、定期的に小集団イベントを実施している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝朝礼にて支援内容について確認をして、全員が共通認識を持って役割を分担していく事が出来る様に確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援後の振り返りについては、情報を周知していく事が出来る様に、様々な方法で情報共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回の支援記録を残すことで、支援の改善に繋がる様にしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に1回モニタリングを行う事で、必要であれば支援内容の検討や計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		利用者様の状況を見て、複数組み合わせ支援を行うように心がけている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		相談支援事業所様とは、担当指導員が、電話にて定期的に情報共有を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		相談支援事業所様とは、担当指導員が電話にて定期的に情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療的ケアが必要な利用者様はいないが、医療機関とは連携している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者様からのご要望があれば、適宜行っていく事を検討している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		障害福祉サービスと都度情報共有を行う事で、放課後等デイサービスを卒業後も安定して過ごしていく事が出来る様に、努めている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関との連携を行い、訪問や研修への参加、助言を頂く機会があった。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	個別活動が主である為、実施が難しい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加通知がある場合は、児発管が主に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		支援後には、毎回保護者様にその日の様子を伝え、保護者様らは最近の様子について教えて頂くなど、共通理解を深めていける様に努めていく。

	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		トレーニングまでには至らないが、保護者様からの相談事があった時は、可能な限り保護者様のお話を聞いたり、自事業所での声掛けの仕方などを伝えご家庭でも実践出来る様案情報についてお伝えをしたりしている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行うと共に、毎月請求明細書をお渡しする際にも確認を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者様から困りごとを聞いた時には、朝礼等で共有を行い、適切な対応や助言についてチームで検討し、対応をしている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		以前は実施していたが、現状はコロナ関連で開催が難しい。だが保護者様からのご要望はあるため、出来る範囲で実施する事を検討する。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者様からの相談に関しては、その都度迅速にかつ適切に対応をしている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報等は発行していないが、LINE やポスター、ブログ等でイベントの開催情報や、空き状況などの情報をその都度発信している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		鍵付き書庫に個人情報を管理している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者様には密に声を掛けたり、日々の何気ない会話を欠かさず行ったりする事で、話しやすい環境を都と終えている。利用者様に対しても出来るだけ話しやすい関係を構築するために配慮をしている。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		個別活動が主であるため実施が難しい。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		契約時に緊急対応マニュアル等は、保護者に周知し事業所内にも掲示を行っている。また、毎月の防災訓練も実施している。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		職員は毎月防災訓練を行い、その都度利用者を守る手立てとして話し合いを行っている。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1度は虐待防止のための社内研修を行い、適切な対応の周知を行っている。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		重要事項説明書や個別支援計画に記載し、契約時に説明を行っている。現在身体拘束を行った事例はないが、やむを得ず身体拘束を行う時の対応について、都度確認して行く。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		基本的に食べ物の提供は行っていないが、アレルギーがある利用者様は把握している。

④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの報告書を適宜作成し、情報共有を行い、対応策を考え同じ事が起らない様に努めている。
---	----------------------------	---	--	---

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校 保護者等数（児童数）：59(62)回収数：53 割合：89%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50	3		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	51	2		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	32	19	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	52	1		・わからない部分を徹底的に指導くださることはありがたいが、そこばかりにとらわれて次の困っている部分がおろそかになっている様に感じる。
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	50	3		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	25	15	・個別支援なので「はい」とも言えませんが「いいえ」でもないと思います。 ・普段会えない子（別日に通所している子）と交流が出来て良いと思います。 ・わからない
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	53			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	53			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	51	2		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	26	8	・コロナ渦の為 ・コロナの状況をよく考えて、開催して下さると思います。 ・なかなか参加できていないですが開催されている様です。他(デイ)の支援と被るのが残念です。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	42	11		・そういった機会はないと思いますが、そもそも苦情と言うものが無い様に感じます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	52	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	44	7	1	

	⑭	個人情報に十分注意しているか	53			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	47	6		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	41	10	2	・午後なども訓練があると良いです。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	50	1	2	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	51	2		・もう少しテストで点数が取れる様になって欲しい。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。